

平成28年度

## 主要な施策に関する説明書

( 一 般 会 計 )

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

(公共下水道事業特別会計)

(農業集落排水事業特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

地方自治法第233条第5項の規定により平成28年度に宮代町が執行した主要な施策についてご報告いたします。

平成28年度の一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計の歳出決算額は、総額で約179億3千万円、前年度に比べ約0.5%、金額にして約9千万円の減となっています。

その主な要因は、都市計画事業の進捗及び特別会計への繰出金の減少によるものですが、介護保険、後期高齢者医療、障がい福祉及び児童福祉といったいわゆる社会保障関連経費は、引き続き高い伸びを示しており、町の他の事業や新たな行政需要への対応を妨げる要因となっています。

一方、このような厳しい財政状況が続く中であっても、町の魅力を向上させ定住人口増加に向けた都市基盤整備など将来につながる投資を進めると共に、持続可能な行財政運営を行うべく、国民健康保険税率の改正、公共施設の再編等の行財政改革を推し進めました。

他方、国では、平成29年4月からの消費税率の引き上げを2年半延期し、デフレ不況からの脱却を目指すアベノミクスを更に推し進めると共に、地方創生の更なる深化を推進するため、地方版総合戦略に基づき地方公共団体が自主的・主体的に行う先導的な取組に対し支援を行っています。

こうした状況の中、平成28年度は、第4次総合計画後期実行計画の初年度として、重点構想を実現するため、実行計画事業に着手したほか、昨年度に引き続き「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた各種事業に取り組んでまいりました。

平成29年度は、子どもから大人まで生涯にわたって住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを目指し、「第4次総合計画後期実行計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた事業を着実に実行してまいりますので、皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

平成29年 8月24日

宮代町長 榎本和男

## 平成28年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

平成28年度は、高齢化を背景に引き続き厳しい状況下での財政運営となりました。

歳入では、納税義務者の増加による個人町民税の増及び新築家屋の増加による固定資産税、都市計画税の増等を背景に町税は増収となったものの、地方譲与税及び地方消費税交付金をはじめとする各種交付金は交付原資の縮小により減額、また、地方交付税も包括算定経費の見直し及び基準財政収入額の増加に伴い交付額が減少し、一般財源総額は前年度に比べ減額となりました。

歳出では、引き続き高齢化を背景とする社会保障関連経費の増や地方創生加速化交付金を活用したみやしろ原風景フォトの作成及び新しい村の機能強化を含めた周辺環境整備等の新たな支出はあったものの、昨年度実施された和戸駅バリアフリー化工事やプレミアム商品券発行事業の終了、さらには東武動物公園駅西口周辺整備事業等の都市計画事業の進捗により、前年度に比べ約9,860万円減額となり、総額で9億4,041万6千円となっています。

このような中、第4次宮代町総合計画後期実行計画の初年度として、5つの基本構想の実現に向け、実行計画事業に重点を置いた予算執行に務めました。

まず、「構想1 人、活動、地域をつなげる」では、地域敬老会や地域交流サロン、介護予防など地域の人同士が支えあう活動を支援し、一人ひとりの「顔」が見え、「つながり」を実感できる地域社会づくりを行いました。また、介護予防リーダー養成講座、防災・防犯マスター講座等を開催し、地域活動の中心となるキーマンの育成にも取り組みました。

次に「構想2 交流人口を増やす」では、インターネット放送局による動画配信サイトを活用した町の情報発信を行うと共に、町の人・物・場所を観光資源として活用するつながり作りイベント「和e輪e」を開催し、交流人口の増加を図りました。

さらに「構想3 定住人口を増やす」では、定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」をバージョンアップし、魅力ある町の住環境をPRすると共に、子育て応援ウェブサイト「みやしろで育てよっ」を開設し、子育てマップ、特集記事、コラム等の情報発信を行い若年世帯の流入促進を図りました。

都市計画事業においては、道仏地区の周辺道路である都市計画道路 春日部久喜線及び東武動物公園駅西口の都市計画道路 中央通り線の整備を着実に進めると共に、東武動物公園駅東口駅前広場整備計画の策定に向け物件調査を行いました。また、地域の憩いの場として新たに道仏地区に街区公園を2箇所整備しました。

「構想4 産業を結び、活かし、広げる」では、農産物の生産・加工・販売の一体（垂直統合）化を進め、農業生産関連所得を増やし、農業への新規参入を促進させるため、6次化商品の開発支援・PRを実施し、「農業の6次化複数年プラン」を策定しました。

「構想5 公共施設の機能と役割の再編」では、公共施設の老朽化に伴う更新時期を前に、人口減少・少子高齢化の進展による行政需要の変化に応じた適正規模の施設へと再編・集約を図り、持続可能な財政運営を可能にするため「宮代町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

平成29年度は、引き続き「宮代町第4次総合計画 後期実行計画」及び「宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた事業に取り組み、町民の皆様の日々の暮らしの充実及び次世代へとつながるまちづくりを進めてまいります。

## 平成28年度 一般会計歳入歳出決算状況

### 歳入の状況

款 名	28年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 町 税	3,702,126	36.5	109	52,354
2 地 方 譲 与 税	85,905	0.8	3	△ 592
3 利 子 割 交 付 金	3,769	0.0	0	△ 2,144
4 配 当 割 交 付 金	15,705	0.2	1	△ 8,162
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	9,572	0.1	0	△ 14,575
6 地 方 消 費 税 交 付 金	438,985	4.3	13	△ 47,102
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	27,060	0.3	1	1,021
8 地 方 特 例 交 付 金	23,481	0.2	1	2,584
9 地 方 交 付 税	1,989,006	19.6	59	△ 27,698
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,480	0.0	0	△ 368
11 分 担 金 及 び 負 担 金	130,045	1.3	4	2,319
12 使 用 料 及 び 手 数 料	68,429	0.7	2	33,034
13 国 庫 支 出 金	940,652	9.3	28	△ 161,571
14 県 支 出 金	566,887	5.6	17	△ 67,792
15 財 産 収 入	10,672	0.1	0	△ 79,342
16 寄 附 金	113,468	1.1	3	△ 4,423
17 繰 入 金	515,290	5.1	15	79,611
18 繰 越 金	701,906	6.9	21	329,333
19 諸 収 入	248,752	2.5	7	△ 66,390
20 町 債	551,732	5.4	16	△ 113,137
歳 入 合 計	10,147,922	100.0	300	△ 93,040

平成29年3月31日現在人口  
33,840人

(単位 千円)

27年度		26年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
3,649,772	35.7	3,615,683	納税義務者数の増による個人住民税の増 新築家屋増による固定資産税及び都市計画税の増
86,497	0.8	82,587	交付原資（国税）の減
5,913	0.1	6,865	交付原資（県税）の減
23,867	0.2	30,967	株価低迷に伴う交付原資（県税）の減
24,147	0.2	18,927	株価低迷に伴う交付原資（県税）の減
486,087	4.7	279,166	交付原資（県税）の減
26,039	0.3	16,031	交付原資（県税）の増
20,897	0.2	19,460	住宅ローン減税対象者の増による交付原資の増
2,016,704	19.7	1,936,750	町税増収による基準財政収入額の増等に伴う普通交付税の減
4,848	0.0	4,620	交付原資の減
127,726	1.2	124,232	保育所及び学童保育所保護者負担金の増
35,395	0.3	42,622	新しい村の町直営化に伴う使用料の増
1,102,223	10.8	1,019,697	臨時福祉給付金事業等の国施策の影響に伴う減
634,679	6.2	552,309	和戸駅バリアフリー改修事業完了等に伴う減
90,014	0.9	5,988	普通財産売却収入の減
117,891	1.2	48,193	ふるさと納税の減
435,679	4.3	310,197	財政調整基金及びまちづくり基金繰入金の増
372,573	3.6	460,104	前年度決算剰余金の増
315,142	3.1	286,968	東武動物公園駅西口整備東武鉄道負担金の減
664,869	6.5	724,089	東武動物公園駅西口整備事業の進捗による減
10,240,962	100.0	9,585,455	

### 歳出の状況

款名	28年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 議会費	98,110	1.0	3	△ 9,012
2 総務費	1,711,835	18.1	51	11,621
3 民生費	3,405,042	36.1	101	132,683
4 衛生費	730,481	7.7	22	△ 8,881
5 労働費	5,139	0.1	0	88
6 農林水産業費	240,075	2.5	7	78,826
7 商工費	63,984	0.7	2	△ 60,700
8 土木費	929,240	9.9	27	△ 310,752
9 消防費	518,157	5.5	15	13,602
10 教育費	983,418	10.4	29	25,210
11 公債費	754,764	8.0	22	28,674
12 諸支出金	171	0.0	0	1
13 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	9,440,416	100.0	279	△ 98,640

平成29年3月31日現在人口  
33,840人

(単位 千円)

27年度		26年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比(%)		
107,122	1.1	102,133	共済負担率の改定による減
1,700,214	17.8	1,430,938	前年度普通財産売払収入の積み立てに伴う公共施設整備基金積立金の増
3,272,359	34.3	3,128,004	年金生活者等支援臨時福祉給付金事業の実施 介護給付・訓練等給付費の増
739,362	7.8	753,431	保健センター外壁改修工事の完了に伴う減
5,051	0.1	10,051	
161,249	1.7	183,101	新しい村の直営化に伴う増 森の市場等改修工事に伴う増
124,684	1.3	63,749	プレミアム商品券発行事業完了に伴う減
1,239,992	13.0	1,241,818	東武動物公園駅西口整備事業の進捗による減 公共下水道事業特別会計繰出金の減
504,555	5.3	505,174	埼玉東部消防組合負担金の増
958,208	10.0	1,041,292	笠原小学校耐震化工事の実施 須賀小中学校歩道橋改修工事の実施
726,090	7.6	753,084	道仏地区土地区画整理事業償還開始に伴う増
170	0.0	107	
0	0.0	0	
9,539,056	100.0	9,212,882	

平成28年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	28年度		増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	
1 人 件 費	1,534,887	16.2	△ 38,472
う ち 職 員 給	1,037,854	11.0	5,717
2 物 件 費	1,422,302	15.1	△ 19,436
3 維 持 補 修 費	46,755	0.5	5,656
4 扶 助 費	1,685,434	17.9	80,786
5 補 助 費 等	1,259,467	13.3	△ 32,257
一部事務組合に対するもの	933,867	9.9	19,626
そ の 他	325,600	3.4	△ 51,883
6 普 通 建 設 事 業 費	441,243	4.7	△ 225,077
補 助 事 業 費	100,092	1.1	△ 183,451
単 独 事 業 費	310,597	3.3	△ 71,824
県 営 事 業 負 担 金	30,554	0.3	30,198
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	754,764	8.0	28,674
8 積 立 金	479,305	5.1	175,817
9 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0	0
10 貸 付 金	8,000	0.1	0
11 繰 出 金	1,808,259	19.1	△ 74,331
合 計	9,440,416	100.0	△ 98,640

(単位 千円)

27年度		26年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比(%)		
1,573,359	16.6	1,557,494	退職手当負担金率の改定に伴う減
1,032,137	10.8	1,007,149	給与改定に伴う増（地域手当、賞与、給料表改定）
1,441,738	15.1	1,346,531	基幹系電算システム改修の完了に伴う減
41,099	0.4	59,843	新しい村改修工事に伴う増
1,604,648	16.8	1,581,476	年金生活者等支援臨時福祉給付金事業の実施 介護給付・訓練等給付費の増
1,291,724	13.5	1,260,803	
914,241	9.6	972,978	埼玉東部消防組合負担金の増
377,483	3.9	287,825	プレミアム商品券発行事業完了に伴う減
666,320	7.0	615,469	
283,543	3.0	474,125	東武動物公園駅西口整理事業の進捗による減
382,421	4.0	140,144	和戸駅バリアフリー改修事業完了に伴う減
356	0.0	1,200	県道春日部久喜線整備（和戸地内）にかかる街路事業負担金の増
0	0.0	0	
0	0.0	0	
726,090	7.6	753,084	道仏地区土地区画整理事業償還開始に伴う増
303,488	3.2	295,911	財政調整基金及び公共施設整備基金積立金の増
0	0.0	0	
8,000	0.1	13,000	
1,882,590	19.7	1,729,271	下水道事業平準化債の借入等に伴う公共下水道事業特別会計繰出金の減
9,539,056	100.0	9,212,882	

## 地 方 債 現 在

区 分	平成 27 年度 末 現 在 高 A	平成 28 年 度 発 行 額 B
1 普 通 債	2,943,554	130,700
(1) 総 務 債	44,873	47,600
(2) 民 生 債	837,150	
(3) 衛 生 債	567,756	
(4) 農 林 水 産 業 債	7,237	
(5) 土 木 債	1,284,879	53,600
(6) 教 育 債	106,809	29,500
(7) そ の 他	94,850	
2 そ の 他	5,851,628	421,032
(1) 減 税 補 て ん 債	229,392	
(2) 臨 時 税 収 補 て ん 債	18,891	
(3) 臨 時 財 政 対 策 債	5,603,345	421,032
合 計	8,795,182	551,732

## 地 方 債 の 借 入 先 別 ・

借 入 先	利 率 別			
	平成 27 年度 末 現 在 高 A	平成 28 年 度 発 行 額 B	平成 28 年 度 元 金 償 還 額 C	平成 28 年 度 末 現 在 高 D(A+B-C)
1 財 務 省	4,662,578	182,527	386,432	4,458,673
2 郵 便 貯 金 ・ 簡 易 生 命 保 険 管 理 機 構	367,941		24,182	343,759
3 地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	2,760,742	256,005	136,806	2,879,941
4 市 中 銀 行 等	834,188	113,200	90,223	857,165
5 共 済 組 合 等	74,883		17,464	57,419
6 そ の 他	94,850		13,850	81,000
合 計	8,795,182	551,732	668,957	8,677,957

## 高 の 状 況

(単位 千円)

平成28年度 元金償還額 C	平成28年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
278,759	2,795,495	1,631,421	1,164,074
13,115	79,358		79,358
67,961	769,189	493,110	276,079
46,166	521,590	151,085	370,505
7,237			
113,979	1,224,500	979,518	244,982
16,451	119,858	7,708	112,150
13,850	81,000		81,000
390,198	5,882,462	3,171,011	2,711,451
40,534	188,858	188,858	
9,347	9,544	9,544	
340,317	5,684,060	2,972,609	2,711,451
668,957	8,677,957	4,802,432	3,875,525

## 利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

平成28年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以下	2.0% 以下	2.5% 以下	3.0% 以下	3.5% 以下	4.0% 以下	4.5% 以下	5.0% 以下	5.0% 超
3,866,323	308,743	263,406	6,977	6,557			6,667	
134,345		209,414						
2,102,889	740,371	13,668	9,176	8,372			5,465	
527,209	329,956							
57,419								
81,000								
6,769,185	1,379,070	486,488	16,153	14,929			12,132	

## 平成28年度 決算状況総括表

### 1 決算収支の状況

(単位 千円)

	28年度	27年度	26年度
歳入総額 A	10,147,922	10,240,962	9,585,455
歳出総額 B	9,440,416	9,539,056	9,212,882
歳入歳出差引額 (A - B) C	707,506	701,906	372,573
翌年度へ繰越すべき財源 D	87,039	200,120	114,727
実質収支 (C - D) E	620,467	501,786	257,846
単年度収支 F	118,681	243,940	△ 156,179
財政調整基金積立金額 G	251,702	129,356	207,367
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	265,524	240,000	190,000
実質単年度収支 (F + G + H - I)	104,859	133,296	△ 138,812

### 2 基金の現在高

(単位 千円)

	28年度	27年度	26年度
財政調整基金	934,197	948,019	1,058,663
減債基金	3,512	3,508	3,507
公共施設整備基金	385,176	253,525	226,062
土地区画整理事業推進基金	211	211	211
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	11,422	13,057	17,817
宮代まちづくり基金	121,482	87,421	45,097
土地開発基金	381,438	381,267	391,097
育英基金	36,784	41,159	42,168
合計	1,874,222	1,728,167	1,784,622

### 3 財政指標

	28年度	27年度	26年度
実質公債費比率	6.7%	6.6%	6.6%
将来負担比率	16.8%	28.3%	32.7%
財政力指数	0.629	0.624	0.620
経常収支比率	92.7%	90.7%	94.6%
実質収支比率	9.6%	7.8%	4.1%
標準財政規模	6,461,048千円	6,453,696千円	6,288,994千円

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は15ページを参照ください)

#### 4 人口

(単位 人)

	28年度	27年度	26年度
住 民 基 本 台 帳	33,840	33,574	33,435

#### 5 国勢調査

(単位 人)

	27年国勢調査	22年国勢調査	17年国勢調査
人 口	33,705	33,641	34,620
第 1 次 就 業 人 口	315	353	480
第 2 次 就 業 人 口	3,551	3,499	3,802
第 3 次 就 業 人 口	10,861	11,221	11,902
( 分 類 不 能 )	854	606	302

#### 6 職員数等の状況

	28年度	27年度	26年度
(一般職員) 職員数	168人	168人	170人
平均年齢	45.11歳	44.10歳	44.02歳
一人当たりの給料月額	332,409円	328,232円	327,017円
ラスパイレス指数	94.9	94.4	94.1

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体（市町村など）の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。



## 第4次宮代町総合計画 後期実行計画

宮代町が10年間のまちづくりの目標として掲げている「みどり輝くコンパクトシティ」を実現するために、計画期間を5年ごとの前期と後期に分け、平成28年度から平成32年度に取り組む事業を後期実行計画としてまとめています。

これらの事業については半年ごとに市民の皆様はその進捗状況をお知らせします。なお、予算執行のあった事業についてはその執行額を掲載しています。

### ■平成28年度後期実行計画

		平成28年度 進捗状況
地域交流サロン支援事業	24	完了
地域敬老会支援事業	26	完了
介護予防・健康づくり活動支援事業	27	一部未完了
防災コミュニティ促進事業	28	一部未完了
市民、活動、地域資源の縁結び事業	30	完了
上手に使おう集会所事業	31	完了
人権尊重平和事業	32	完了
宮代型観光推進事業	34	完了
宮代町の魅力推進事業（里山体験事業）	36	完了
市民の活動をつなぐインターネット放送局開局事業	38	完了
みんなで子育て！こども未来事業	39	完了
みやしろ定住促進事業	40	完了
宮代ファーマーズタウン推進事業	41	一部未完了
道仏土地区画整理周辺整備事業	42	一部未完了
東武動物公園駅西口周辺整備事業	44	一部未完了
東武動物公園駅東口周辺整備事業	45	一部未完了
まちなか起業創業支援事業	46	完了
障がい者の雇用創出事業	48	完了
宮代町農業の6次化推進事業	49	完了
明日の農業担い手支援事業	50	完了
宮代町農業生産基盤整備推進事業	52	完了
公共施設再編第2期計画	54	一部未完了

## 人権尊重平和事業

[人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、人権教育推進事業、教職員研修奨励事業、小学校管理運営事業、中学校管理事業]

人権推進室 内線 210  
学校教育担当 内線 423  
生涯学習室 内線 433

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,318,794	2,810,504	19,000	0	0	0	2,791,504

### ◎ 平成28年度の事業実績(成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業として朗読劇を開催し平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民参加を軸に普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

#### <実施内容>

##### ■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。また、各小中学校においても、様々なかたちでの人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

- ①宮代町人権教育推進協議会研修会 6月24日 コミュニティセンター進修館小ホール
- ②宮代町教職員人権教育研修会 8月19日 町立図書館ホール
- ③人権問題合同研修会 2月2日 コミュニティセンター進修館小ホール  
講演テーマ:「差別の現実から学ぶ」 講師:水島輝彦氏  
人権啓発DVD「<sup>こゑ</sup>「<sup>かたち</sup>形」視聴

##### ■人権出前講座の実施

人権教育の普及・啓発を目的とし、差別のない明るいまちづくりについて学ぶ「みんなで語ろう身近な人権」を宮代町出前講座「まちしるべ」のメニューとしました。

##### ■男女共同参画セミナーの実施

2月18日、コミュニティセンター進修館研修室において、男女共同参画セミナーを開催しました。

講演テーマ:「片づけられない悩みから自由になる」

講師:かわさき真知氏(ライフオーガナイザー・心理カウンセラー)

##### ■平和写真展、平和啓発事業の実施

平和事業の推進を目的として、次の事業を実施しました。

<主な取り組み>

- ①平和啓発事業 朗読劇「私たちと原爆 ～わすれてはならないあの日～」  
7月30日 町立図書館ホール
- ②原爆写真展 7月15日～8月13日 町立図書館展示ホール



## 公共施設再編第2期計画

政策担当 内線 214  
 管財担当 内線 211  
 教育総務担当 内線 425

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
62,000	2,047	0	0	0	0	2,047

### ◎ 平成28年度の事業実績(成果)

「宮代町公共施設等総合管理計画」に基づき、将来の町立小中学校の規模と配置に関する適正化の考え方を地域住民の皆様へ説明し、多様な御意見をうかがうことで、今後の研究、検証すべき課題の整理を行うことができました。

#### <実施内容>

##### ■宮代町公共施設等総合管理計画

これまでの公共施設等に対する町の取り組みを整理し、保有するすべての公共施設等の現状調査を行い、「宮代町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

##### ■広報・啓発

「広報みやしろ」や「地区連絡会」、「地区回覧」を通じて、町立小中学校を取り巻く将来課題についてお知らせしました。

##### ■地域説明会の開催(全6回)

主に、中学校区を単位として「宮代町立小中学校適正配置計画」について説明、御意見を伺いました。

##### ■借地の解消に関する方針の策定

借地解消の方向性については、借地の返還ができない施設は取得するとの方針のもと、西原自然の森の購入に向け地権者との交渉を行いました。なお、取得する施設及び年度等の具体的方針については、財源の確保が難しく、また、地権者の状況の把握が必要なことから、策定までにはいたりませんでした。

### ★ 後期実行計画の目標とその工程

近い将来に訪れる更新時期を前にして、人口減少、少子高齢化が進んでおり規模の面からも、財政負担の面からも現状と同様のフレームでの施設更新は適切ではありません。次代のニーズ、行政需要に応じた適正規模の施設へと再編・集約を図ることで持続可能な行政運営を目指します。

実施内容	実施主体	H28	H29	H30	H31	H32
公共施設等総合管理計画の策定	企画財政課	▶				
小中学校適正配置・公共施設再編	教育推進課 関係課	▶				
借地の解消	企画財政課	▶				

### 後期実行計画の成果目標(平成32年度)

公共施設等総合管理計画の策定

# 教 育 推 進 課

## ■ 本年度の成果

町民の皆様、に、さまざまな社会環境の変化に対応し、ゆとりと生きがいのある充実した生活を送っていただけるよう、また、自ら学び、豊かな感性と創造性に富み、地域社会に貢献できる21世紀を担う心豊かな人材の育成が図られるよう、「宮代町教育振興基本計画（H28-32）」に掲げる基本理念「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」を目指して各種事業に取り組み、次のような成果をあげることができました。

### 1. 教育総務・学校教育

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人ひとりを大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上に着実な成果をあげることができました。また、体力面でも「埼玉県新体力テスト」の結果から本町の児童生徒は高い水準を保っており、須賀中学校が5年連続で埼玉県体力向上優良校となりました。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」を作成活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、14年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、教師による合同研修会や授業研究会、中学校生徒による小学校での体育支援や学習支援等も行われるようになり、特色ある教育活動が展開されました。その成果として島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会では、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育てるとともに、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを図ることができました。

環境教育においても、兄弟関係また学校内で内容が引き継がれ、家庭において省エネ活動に課題意識をもって取り組むことにより、児童だけでなく家族全体の環境意識の向上を図ることができました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級（知的、自閉・情緒）を、また難聴・言語障害通級指導教室を1教室設置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域ぐるみで取り組むという地域・家庭・学校が一体となった取り組みを進めました。また、学校評議員会の充実を図り、その提言や意見を活用し地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、教育委員会事務局内に配置されている教育相談員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組み、登校状況が改善されたケースも見られました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒を交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、老朽化や劣化対策のための大規模改修工事の実施や、中学校三校への防犯カメラの導入など、安心安全な教育環境の確保に努めました。また、教育系ネットワーク整備の第二期として「校務支援システム」「小中学校ホームページ管理システム」を導入し、小中学校の管理運営業務の効率化を図りました。

学校給食では、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進しています。平成28年度には米類22.3トン、野菜等8.7トン、合わせて35品目、31トンを使用しました。

## 2. 生涯学習

生涯学習のまちづくりを進めるため、みやしろ大学、町民文化祭、成人式をはじめとした各種事業を開催しました。

みやしろ大学では、運営委員の協力のもと、健康、科学、音楽など、多様なテーマで企画された計8講座に、延べ1,374人が参加され、高齢者の健康や生きがいづくり、仲間づくりのきっかけに効果をあげることができました。

町民文化祭には舞台発表や展示出展などに延べ3,443人が参加し、日頃の活動成果の発表を行いました。

成人式では、新成人自ら実行委員となって式を企画・運営し、217人の二十歳の思い出をつくり上げてくれました。

青少年健全育成においては、初版から20年以上が経過した「みやしろ郷土かるた」の全面改訂に際して、読み句、絵札原画などを町内の小中学生などからの応募のもと選定し、「新みやしろ郷土かるた」として制作を行うことができました。

また、日本工業大学と連携して「子ども大学みやしろ」を開校し、延べ199人の子供たちが、普段の学校生活では得ることのできない知識の習得や、専門的で高度な技術の体験をすることができました。さらに、共栄大学との連携による、山崎山を会場とした小学生向けの体験事業「あそべんちゃーわーど」には48人が参加し、竹太鼓づくりや流しそうめんなど、山崎山の豊かな自然を活かした遊びを体験しました。

## 3. 町立図書館

町立図書館は指定管理者による運営の第2期に入り、町立図書館の様々なサービス向上に加え、町内の小中学校図書室への支援活動にも引き続き積極的に取り組みました。

自主事業は、映画会、夏休み工作教室のほか、中高生向けに本の紹介コミュニケーションゲームを組み入れるなど、子供から高齢者向けの数多くの事業を実施するなど積極的な事業展開を行いました。

さらに、多くの町民ボランティアに図書館の運営にも参加いただき、乳幼児を対象とした「すいようえほんの会」を23回開催するなど、小さいお子さん連れの保護者の方にとってもより身近な図書館となるように努めました。

また、宮代町史、郷土資料館所蔵の古文書などの歴史資料のデジタル化を行い、インターネットによる公開を開始するとともに、シリーズ化した講座を開催しました。

## 4. スポーツ振興

町民の健康づくりや親睦と交流・競技力の向上などを目的に、体育協会、レクリエーション協会と連携協力し、町民綱引大会や町民スポーツ大会をはじめ、様々な事業に取り組みました。

総合運動公園では、指定管理者ミズノグループが、自主事業の拡大を図り、テニススクールに7,816人、スイミングスクールに24,643人のほか、膝・腰痛体操教室やヨガなどの健

康に関する教室に多くの方々の参加がありました。

体育施設の利用においては、総合運動公園では年間の利用者総数が213,372人となり、3年連続での20万人を超えたほか、宮東テニスコートのなどのグラウンドでは延べ71,698人の利用があり、多くの方々のスポーツ、健康づくりの場として活用をいただくことができました。

また、スポーツ推進委員が中心となって企画運営を実施した小学生のためのスポーツ教室「あそびと運動（トライ及びチャレンジ）」には、延べ347人が参加し、スポーツ少年団への委託事業として実施した「少年少女スポーツフェスティバル」や「ロードレース大会」と併せて、小学生のスポーツを通じた交流の促進を図ることができました。

## 5. 文化財保護

文化財保護事業では、ふるさと納税制度を活用し青林寺・百間陣屋跡と地藏院の文化財案内板を新たな銘版に交換いたしました。最近判明した宮代の歴史を入れることができ、広く地域の歴史、由来を知っていただくことができました。

また、道仏土地区画整理事業に伴う道仏遺跡の発掘調査の整理作業として、遺物の実測や拓本、図版の作成などを行い、それに基づき執筆作業、写真撮影を行い、文化財調査報告書第23集「道仏遺跡」を刊行することができました。これで、道仏土地区画整理事業に伴う発掘調査を全て終了することが出来ました。

郷土資料館では、特別展や企画展を開催し、町内の歴史や文化の一端を知っていただくことができました。特別展では、町指定の文化財を可能な限り一堂に集めた初めての展示となった「宮代町の指定文化財」を開催するとともに、講演会及び歴史ウォークも行いました。また、企画展では「古文書に見る人々の暮らし 遺された記録」、「江戸時代の百間本村～宿・川島・切戸～」のほか、東部地区文化財担当者会巡回展として「埼玉県東部地区の交通」を開催しました。

また、夏休みを中心とした各種の講座や、「かやぶき民家で聞く昔話」、「縄文土器づくり教室」などを通じて、子供たちをはじめ多くの町民の皆様に昔の暮らしや技術などを学んでいただきました。

## ■ 平成28年度後期実行計画

人権尊重平和事業	32
公共施設再編第2期計画	54

## ■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	159
不登校対策事業	160
小中一貫教育推進事業	160
町民みんなが先生推進事業	162
小中学校適正配置事業	162
英語指導助手活用推進事業	163

小学校施設管理事業	-----	163
小学校要準特別支援教育就学援助事業	-----	164
小学校学力向上（基礎学力定着）推進事業	-----	164
小学校環境教育推進事業	-----	165
中学校施設管理事業	-----	165
中学校要準特別支援教育就学援助事業	-----	166
中学校学力向上（基礎学力定着）推進事業	-----	166
学校給食運営管理事業	-----	167
社会教育活動事業	-----	168
人権教育推進事業	-----	169
青少年健全育成事業	-----	169
公民館管理運営事業	-----	171
図書館管理運営事業	-----	171
総合運動公園管理事業	-----	174
社会体育施設維持管理事業	-----	176
生涯スポーツ振興事業	-----	177
文化財保護事業	-----	179
埋蔵文化財発掘調査事業	-----	180
埋蔵文化財発掘調査受託事業	-----	180
資料館管理運営事業	-----	181

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
577,000	477,346	0	0	0	0	477,346

### 〔主な実施内容〕

#### ■新入学児童全員に防犯ブザーの配布

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

#### ■交通安全対策啓発用資料・防犯対策啓発資料の作成

小学校版として交通安全対策啓発用ポスターと作文を、中学校版として防犯対策啓発用ポスターと作文をつくり、そのポスターの中に標語も掲載しました。作成した児童生徒の創意工夫あふれるポスターや作文は、リーフレット「気をつけて」にまとめ、児童生徒全員に配布するとともに、ポスターは各学校及び進修館、ぐるる、保育園等の公共施設に掲示し、その啓発を図りました。

#### ■「こども110番の家」の設置

「こども110番の家」は、現在118軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後時において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったときの駆け込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

#### ■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校4校311人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

### 〔成 果〕

登下校指導及び交通安全対策啓発資料等の活用もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども110番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生しておりません。

スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まっています。

## 不登校対策事業

[学校教育担当]

決算書 P150

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,401,000	7,131,432	0	3,113,000	0	0	4,018,432

### [主な実施内容]

各中学校に1名の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制としてボランティアの相談員を併せて1名ずつ配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、委員会事務局内に教育相談員を引続き配置し、学校と委員会間の情報共有に努め、児童生徒や保護者へのフォローアップを実施しました。

### [成 果]

平成28年度の不登校の児童生徒は24名でした。

ただし、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員(さわやか相談員)、ボランティア相談員、教育相談員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から派遣されたスクールカウンセラー2名の協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では0.42%、中学校においては2.31%で、中学校が県の平均を下回っています。

## 小中一貫教育推進事業

[学校教育担当]

決算書 P152

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,390,000	2,257,081	0	0	0	0	2,257,081

### [主な実施内容]

#### ■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

宮代町立小中学校一貫教育推進委員会を2回実施し、その話し合いの結果を生かし、宮代町の小中一貫教育を推進しました。

須賀小・中学校では、「生きる力を育む小中一貫教育」を研修課題として、平成28年度は算数・数学を中心として小・中共通した目標や取り組みを設定しました。校長の交換講話、相互の授業参観、児童生徒の交流活動等を実施し、その成果を示すことができました。

また、東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、昨年につき、英語教育強化地域拠点事業の委嘱を県教委から受け、小・中・高を見通した英語カリキュラムの作成、小学校における英語教科化に向けた英語教材開発の研究を推進しました。また、数学及び英語の小学校での出前授業や児童生徒の交流活動等も実施し、小・中の教職員がお互いの学校の教育活動等を理解し合うとともに、指導法等について話し合い、小中学校で目指す児童生徒像の具現化に向け、

今後の学校の教育活動に生かすことができました。

さらに、百間小学校・前原中学校では、平成18年度に実施した埼玉県教育委員会の研究指定「パイオニアスクール事業」以来、小・中の学習・生活面での連携を深めながら、小・中両校で作成している「家庭学習の手引き」の改善、中学生が小学生に学習ボランティアとしてサマースクールで支援を行なうなどの児童生徒間交流、小中学校長の交換講話等を実施し、その成果を示すことができました。

### ■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動の一層の推進を図りました。また、小学校では、担当者が外国語活動補助員と中学校の英語指導助手（ALT）と連携し、英語活動の充実に取り組みました。外国語活動・英語教育推進委員会で夏季研修会を開催し、小中の英語担当教員やALTが参加し、模擬授業を実施しての研修会を行いました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、小学生と中学生が一堂に会して小中学校における英語の学習の成果を発表することができました。

### ■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。また、宮代道徳の日については、各校の取り組みのまとめを庁舎内に展示しました。これらの取組は、道徳授業公開、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

## [成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。特に、教職員間の交流では、小・中学校の教員がお互いの学校の教育活動を理解し合うとともに、指導方法等について話し合い、それぞれの学校の教育活動に生かすことができました。また、児童生徒間の交流では、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげることができました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図るとともに、百間中学校区の研究の成果を他の中学校区でも活用し、指導の充実に生かすことができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使つての授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。

## 町民みんなが先生推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P152

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
883,000	805,026	0	442,000	0	0	363,026

### 【主な実施内容】

「町民みんなが先生」制度により、部活動で12名の方々が中学生の指導を行いました。

### 【成 果】

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

## 小中学校適正配置事業

〔教育総務担当〕

決算書 P148

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
62,000	2,047	0	0	0	0	2,047

### 【主な実施内容】

#### ■地域説明会の開催（全6回） 平成28年10月

将来の町立小中学校の規模と配置の適正化についてまとめた「宮代町立小中学校適正配置計画（H28.3）」を地域住民の皆様へ説明し、御意見を伺いました。

P54 『公共施設再編第2期計画』参照

### 【成 果】

町立小中学校の将来の規模や配置の適正化についてまとめた町計画を説明し、地域住民の皆様の声を伺うことで、今後の研究、検証が必要な諸課題についても整理することができました。

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,160,000	12,160,000	0	0	0	0	12,160,000

### 【主な実施内容】

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校への派遣を月3～5日程度計画的に行い、小学校との連携を図りながら指導にあたりました。また、夏季休業中にも英語スピーチ大会に向けた指導をしました。さらに、小中学校の英語担当教員を対象とした夏季研修会を実施しました。

### 【成 果】

小学校においては、英語活動を通して他国の文化に触れるなど国際理解教育が推進されました。中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合い、具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようになるなど、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、小・中学校における英語の学習の成果を発表することができました。

## 小学校施設管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P158

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
228,180,000	70,520,806	0	0	15,400,000	365,500	54,755,306

### 【主な実施内容】

#### ■町内各小学校の施設改修・修繕

##### 主なもの

内 容	時 期	金額(円)
笠原小学校耐震補強工事	6月～9月	14,428,800
笠原小学校大階段改修工事	6月～9月	6,868,800

#### ■教育系ネットワークの構築

内 容	契約期間	金額(円)
校務支援システムリース契約	H28.10.1～H33.9.30	1,123,447
公式ホームページ管理システム賃貸借契約	H29.3.1～H34.2.28	(H29～)

### 【成 果】

町内小学校の適正な施設管理のため、学校の環境整備を行いました。特に全小学校に校務支援システムや公式ホームページ管理システムを導入したことにより、校務の効率化や、学校毎に特色のあるホームページ記事が作成出来るようになり、教育環境の向上を図ることができました。

## 小学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P160

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,453,000	9,703,261	261,000	60,000	0	0	9,382,261

### [主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

### [成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は150名(9,258,418円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は15名(444,843円)となりました。

## 小学校学力向上(基礎学力定着)推進事業

[学校教育担当]

決算書 P160

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
20,717,000	15,636,671	0	0	0	10,000,000	5,636,671

### [主な実施内容]

#### ■非常勤講師の配置

非常勤講師の配置を1校あたり2人、全小学校で8人配置し、学習内容や児童の状況に応じたきめ細やかな指導を行いました。

### [成 果]

非常勤講師の配置により、担任と協力しながらチームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習効果が期待できる学習形態を柔軟に取り入れ、個に応じたきめ細やかな指導を充実させることができました。特に算数の指導において、各学校とも担任と非常勤講師が連携を図り、児童の伸びや課題を明確にし、児童一人ひとりの実態に応じた指導を行うことで、基礎・基本の定着を図ることができました。

**小学校環境教育推進事業**

[学校教育担当]

決算書 P160

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,000	3,024	0	0	0	0	3,024

**[主な実施内容]**

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議を実施し、話し合った内容を踏まえた環境対策に各小中学校で取組ました。

**[成 果]**

平成28年12月13日に進修館で開催した「宮代町キッズエコサミット」には、小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で取り組んだ環境への取り組みを紹介し、キッズエコライフのパネルディスカッションを行いました。その様子から、エネルギー削減や環境を大切にしようとする意識の高まりを伺うことができました。

また、自分たちで取り組むことができる環境への取り組みについて話し合う「子ども環境会議」を開催し、電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を、恒例の7月第一土曜日に実施しました。町内全小中学生が取り組み、「網戸で軽装」「ろうそく作戦」など子供たちが自ら考えた取り組みが見られ、環境への意識が高まっています。

なお、平成28年度からは、「宮代江戸の日(冬)」に町内全小中学生が「運動をして体を温める」「重ね着をする」「湯たんぽを使う」などの取り組みが見られました。

**中学校施設管理事業**

[教育総務担当]

決算書 P164

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
146,494,000	60,552,294	0	751,000	0	2,931,860	56,869,434

**[主な実施内容]**

■町内各中学校の施設改修・修繕

主なもの

内 容	時 期	金額(円)
須賀中学校体育館歩道橋改修工事	6月～9月	14,558,400
中学校防犯カメラ設置工事	8月～10月	3,485,160

■教育系ネットワークの構築

内 容	契約期間	金額(円)
校務支援システムリース契約	H28.10.1～H33.9.30	842,585
公式ホームページ管理システム賃貸借契約	H29.3.1～H34.2.28	(H29～)

## [成 果]

町内中学校の適正な施設管理のため、学校の環境整備を行いました。特に全中学校に校務支援システムや公式ホームページ管理システムを導入したことにより、校務の効率化や、学校毎に特色のあるホームページ記事が作成出来るようになり、教育環境の向上を図ることができました。

### 中学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P166

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
13,500,000	10,776,378	135,000	0	0	0	10,641,378

## [主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

## [成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は110名(10,620,588円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は3名(155,790円)となりました。

### 中学校学力向上(基礎学力定着)推進事業

[学校教育担当]

決算書 P166

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
18,594,000	17,450,881	0	0	0	10,000,000	7,450,881

## [主な実施内容]

### ■非常勤講師の配置

非常勤講師の配置を、1校あたり2人、全中学校で6人配置し、学習内容や生徒の状況に応じたきめ細やかな指導を行いました。

## [成 果]

非常勤講師の配置により、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習効果が期待できる学習形態を柔軟に取り入れ、学習指導を充実させることができました。

その教科が苦手な生徒や理解に時間がかかる生徒等、個別に支援が必要な生徒への指導を充実させることができました。特に数学に関しては、少人数指導や習熟度に応じた指導等を充実させ、生徒の基礎学力の定着及び学力の向上において成果を得ることができました。

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
326,873,000	324,443,693	0	0	0	112,687,287	211,756,406

**[主な実施内容]**

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を6回、給食に使う物資について検討する物資検討会を11回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を1回開催しました。

また、特定の食材についてアレルギーをもっている子供に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

**■学校給食における宮代産農作物の使用状況**

年 度	28年度	27年度	26年度
品 目 数	35品目	36品目	34品目
使 用 量 (米・野菜等)	米 22.3 トン 野菜等 8.7 トン	米 23.0 トン 野菜等 10.2 トン	米 23.1 トン 野菜等 12.8 トン

**[成 果]**

・食育の推進

児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、わが家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成にもつながるよう取り組みました。

・アレルギー対策

食物アレルギーのある児童生徒に対して、除去食・代替食の提供を行いました。

・放射線対策

学校給食に使用する食材産地(毎月)と学校給食に使用する食材の放射性物質測定(毎週)を行い、その結果を公開しています。

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,263,000	1,688,944	0	0	0	697,400	991,544

**〔主な実施内容〕**

生涯学習のまちづくりの実践として各種事業を行いました。

**■みやしろ大学の開催**

755,081円

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいづくりや健康づくりにつながる講座やフィールドワークを計8回開催し、延べ1,374人が参加しました。

回	テーマ・内容(★=公開講座)	開催日	場 所	参加者数
1	歩く環境と若返りの関係について★	4月19日(火)	進修館大ホール	301人
2	ウォーキング～さいたま市民の森・盆栽美術館ほか～	5月17日(火)	さいたま市	48人
3	埼玉県の観光施策について ★	6月21日(火)	進修館大ホール	177人
4	キューピー講演会 「楽しく食べて、健康に！」 ★	7月19日(火)	進修館大ホール	239人
5	南極・北極探検の歴史と 日本南極観測隊の活動 ★	9月20日(火)	進修館大ホール	158人
6	県外研修～佐原・鹿島方面～	10月18日(火)	佐原市・鹿島市	115人
7	軽体操&シニアの体力測定	11月15日(火)	進修館大ホール	159人
8	音楽療法で身体と心をリフレッシュ!	12月20日(火)	進修館大ホール	177人

**■町民文化祭の開催(平成28年11月3日～11月6日の4日間)**

603,559円

宮代町文化協会が中心となって第38回宮代町民文化祭を開催し、舞台発表や制作教室に延べ1,458人、展示出展に延べ1,985人が参加しました。そのほか、グラスハーブとギターのデュオ「erikuo(エリクオ)」が主演した文化公演会には、353人が来場しました。

**■成人式の開催(平成29年1月8日(日))**

235,706円

新成人による実行委員会の企画運営により式典及びアトラクションを開催し、217人が参加しました。

**〔成 果〕**

みやしろ大学の受講生を対象としたアンケートでは、85%の満足度を得ることができました。町民文化祭は、日頃の生涯学習活動の成果を発表する場として制作者や発表者の目標や励みとなるとともに、鑑賞者が文化・芸術活動に参加するきっかけづくりとなりました。

成人式では、恩師からのメッセージや新成人の決意発表等が行われ、新たな門出にふさわしい式となりました。

## 人権教育推進事業

[生涯学習室]

決算書 P168

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
923,000	812,691	0	0	0	0	812,691

### [主な実施内容]

差別の解消に向けて、様々な人権問題を理解していただくために、広い世代にわたり研修、啓発活動を行いました。

#### ■子ども人権講座の開催

40,000円

町内の小学6年生全員を対象に子ども人権講座「目が見えなくなって見えたもの」を開催し、258人が受講し、命の大切さについて学ぶことができました。

#### ■人権文集（あおぞら第22集）の発行

94,886円

小中学校の児童生徒による人権作文・標語の作品集の作成と発表会を開催し、発表会会場校の5年生・6年生136人、一般30人が参加しました。

#### ■宮代町人権教育推進協議会への助成

510,405円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を行いました。

### [成 果]

子ども人権講座では、視力を失いながらも「あきらめないこと」「挑戦する気持ちを持ち続けること」を話していただきました。子どもたちにとって生きることの示唆をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成活動は、児童生徒一人ひとりが人権問題について考える機会となりました。

また、みやしろ大学の県外研修の車中で行った研修によって、あらゆる年代の方に人権を考える機会を提供させていただいたことで、子供から高齢者まで幅広い年代の方が、自分の大切さ、他の人の大切さを認識することができ、人権尊重の精神を養うことができました。

## 青少年健全育成事業

[生涯学習室]

決算書 P170

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,839,000	4,425,105	0	1,900,000	0	106,900	2,418,205

### [主な実施内容]

#### ■あそべんちゃーわーんど（平成28年7月31日（日））

14,441円

共栄大学教育学部との連携のもと、小学生を対象に山崎山の自然等を活かした各種体験事業を実施しました。学生が中心となった企画運営が行われ、48人が参加しました。

## ■子ども大学みやしろの開校

30,000 円

日本工業大学と連携し、小学校4～6年生を対象として「子ども大学みやしろ」を開校しました。日本工業大学のキャンパス等を会場とし、大学の先生や専門家による特色ある授業により、子供の知的好奇心を刺激する学びの機会を提供することができました。

講 義 名	期 日	場 所	参加者数
からくり人形なぜ歩く？	9月3日(土)	日本工業大学 機械実工学教育センター	51人
おもしろデザイン講座	9月10日(土)	日本工業大学 スチューデントラボ	50人
南極クラス	10月1日(土)	コミュニティセンター進修館 大ホール	48人
パッケン貯金箱	10月15日(土)	日本工業大学 物理実験研究棟	50人

## ■みやしろ郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた大会の開催

32,625 円

宮代町や埼玉県の歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催しました。多くの子供たちが一堂に会し、ルールを守り、楽しく競い合いながら、仲間づくりや郷土愛の育成をはかることができました。

大 会 名	期 日	場 所	対 象	参加者数
みやしろ郷土かるた大会	7月3日(日)	進修館大ホール	小学1～6年生	165人
彩の国21世紀郷土かるた宮代大会	1月22日(日)	進修館大ホール	小学4～6年生	39人

## ■新みやしろ郷土かるたの制作（埼玉県ふるさと創造資金活用事業）

4,175,779 円

初版から20年以上が経過した「みやしろ郷土かるた」の内容を町の現状に合わせて、全面改訂しました。読み句、絵札原画、名称の制作には、町内の小・中学生など、約4,200人が参加し、読み句に6,185点、絵札原画に1,590点の応募がありました。

公募による委員を含めた10名からなる制作委員会による選定を経て、郷土宮代の魅力を凝縮した46の読み札と絵札が決定し、3月18日に完成記念式典を開催しました。

## [成 果]

子ども大学みやしろでは、なぜを追究する「はてな学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」を基本とした授業を行うことにより、学校では教えてもらうことができない知識や体験が得られ、創造性豊かな子供の育成に寄与することができました。

郷土かるた大会は、子供たちが互いに助け合い、競い合うなかで、郷土愛の育成と、仲間の大切さについて学ぶ場とすることができました。

また、新みやしろ郷土かるたの制作プロセスにおいては、小・中学生をはじめとした多くの町民の参加を得ることで、町民が郷土の歴史や文化等を再認識するきっかけとなるとともに、今後、幅広い世代に愛され、活用される郷土かるたとして制作することができました。

いずれの事業も、学校とは異なる活動を異年齢集団の中で体験し、子供の協調性や社会性、生きる力を養い、町の魅力ある文化や環境などを身近に感じてもらうことができました。

公民館管理運営事業

[生涯学習室]

決算書 P170

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,389,000	3,113,371	0	0	0	2,355,750	757,621

[主な実施内容]

■公民館の利用状況

平成28年度は、308日開館し3館で合計53,194人が利用しました。

		28年度 A	増減 A-B	27年度 B	26年度
百間公民館	利用回数	1,407	△12	1,419	1,515
	利用人数	17,175	△320	17,495	17,982
川端公民館	利用回数	1,956	50	1,906	1,879
	利用人数	18,502	147	18,355	18,236
和戸公民館	利用回数	1,711	41	1,670	1,718
	利用人数	17,517	△541	18,058	17,430
合 計	利用回数	5,074	79	4,995	5,112
	利用人数	53,194	△714	53,908	53,648

[成 果]

学習や文化活動等の場を提供することで、地域住民の主体的な学習活動が促進されました。また、自治会活動など、地域活動・地域づくりの拠点として地域の活性化に寄与しました。

図書館管理運営事業

[生涯学習室]

決算書 P170

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
82,786,000	82,765,400	0	0	0	20,590	82,744,810

[主な実施内容]

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

■図書館の利用状況

		28年度 A	増減 A-B	27年度 B	26年度
開館日数(日)		289	1	288	284
貸出者数(人)		98,541	△3,779	102,320	104,162
うち広域対象		37,154	△1,110	38,264	39,490
貸出冊数(冊・点)		370,529	△17,778	388,307	407,940
うち広域対象		143,402	△4,267	147,669	157,244

■ 図書等の所蔵数の状況

	28年度 A	増減 A-B	27年度 B	26年度
図 書 (冊)	254,999	566	254,433	253,490
うち一般書	195,507	△270	195,777	195,461
うち児童書	59,492	836	58,656	58,029
視聴覚資料(点)	8,076	28	8,048	8,527
合 計	263,075	594	262,481	262,017

■ 各種行事等の実施状況

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例(定期)行事のほか、東武動物公園や日本工業大学との連携講座、平成28年度にデジタル化公開した郷土資料を活用した郷土史講座などが開催され、延べ4,749人が参加しました。

【月例行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
童話と絵本の会	全13回	219人
紙芝居と折り紙	全11回	249人
おはなし会	全21回	170人
子ども映画会	全10回	284人
ライブラリーシアター	全12回	602人
すいようえほんの会～0.1.2.3～	全23回	722人
ベビーマッサージ&あかちゃんえほんの会	全7回	106人
キッズタッチ&えほんの会	全5回	40人
初めての短歌	全2回	28人
ブックスタート事業	全11回	227人
19世紀の名作曲家を満喫する会ほか (ナクソス・ミュージック・ライブラリー利用クラシックコンサート)	全12回	66人

【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
子ども読書の日記念行事「としょかんこどもまつり」	4月24日(日)	292人
ぬいぐるみおとまり会	全2回(5月3日、1月8日)	33人
第12回朗読会	5月29日(日)	26人
夏休み親子で楽しむおはなしと映画の会	全3回(7月～8月)	138人
夏休み子ども映画会	全2回(7月～8月)	35人
夏休み子ども平和映画会	8月4日(木)	22人
夏休み科学あそび教室	8月5日(金)	30人
夏休みおはなし工作会	8月18日(木)	25人
夏休み読書感想文教室	8月21日(日)	38人
落語を楽しむ会(DVD)	9月19日(月・祝)	42人
図書リサイクル市	全2回(10月1日、2日)	100人
講座「生きる力を育てるために」～絵本のある子育て～	全2回(10月28日、11月4日)	24人

クリスマスお楽しみ会	12月23日(金・祝)	150人
第23回大人も楽しめる紙芝居の集い	1月29日(日)	53人
第22回おとなのための昔話と音楽のつどい	2月26日(日)	163人
春のお楽しみ会	3月11日(土)	60人
雑誌リサイクル市(除籍雑誌無料頒布会)	全3回(3月18日、19日)	100人

### 【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
耳で聞いて楽しむ「古事記」	4月17日(日)	45人
特別講演会「飼育係の仕事とリスザルの人口哺育」	6月11日(土)	9人
特別講演会「ロボット工学博士が大集合！」	6月12日(日)	44人
親子で挑戦！調べ学習ワークショップ	全2回(6月26日、7月9日)	55人
チャレンジ！中学生 調べ学習ワークショップ	全2回(7月23日、28日)	2人
大人のための16ミリ映画会	8月7日(日)	65人
夜のこわーいおはなし会	8月28日(日)	85人
耳で聞いて楽しむ「古事記」再演	全3回(9月～11月)	122人
ビブリオバトル～ティーンズ編～	9月25日(日)	14人
子ども司書講座～図書館マスターになろう！～	全2回(10月30日、11月6日)	4人
子ども司書講座スペシャルお話し会	11月6日(日)	9人
バリアフリー映画会	12月11日(日)	35人
電子書籍を楽しむ会	12月18日(日)	5人
ベートーヴェンの第九を満喫する会	12月25日(日)	18人
初笑い！昭和の落語名人芸を聴く会	1月7日(土)	26人
デジタル郷土資料で郷土史を学ぼう！	全3回(1月～3月)	131人
講座「チャレンジ！野菜づくり」	1月22日(日)	36人

### 【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用と町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供によって、利用者アンケートの総合評価においても、「満足」「おおむね満足」を合わせた好評価を回答者の78%の方からいただきました。

また、平成28年度は、将来的な普及を想定した「みやしろ電子図書館」の導入や郷土の歴史資料を高細密デジタル画像でインターネット公開する「郷土資料のデジタル化事業」等を実施し、インターネットを活用した先駆的なサービスに取り組みました。

さらに、子どもの読書活動の推進においては、司書スタッフによる小・中学校図書室の運営支援等のほか、新たな取組として実施した「子ども司書講座」や児童向け「読書通帳」の制作等により、児童・生徒の読書活動の増進に大きく寄与しました。

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
83,337,000	83,103,127	0	0	14,100,000	2,423,880	66,579,247

## [主な実施内容]

## ■総合運動公園の利用状況

平成28年度は300日開園し、213,372人が利用しました。

		28年度 A	増減 A-B	27年度 B	26年度
テニスコート	利用件数	3,305	△37	3,342	3,092
	利用人数	28,649	1,920	26,729	26,878
多目的広場	利用件数	164	39	125	130
	利用人数	9,525	80	9,445	8,162
野球場	利用件数	205	6	199	231
	利用人数	13,483	2,609	10,874	14,839
ソフトボール場	利用件数	186	30	156	147
	利用人数	5,810	△465	6,275	5,154
メインアリーナ	利用件数	1,288	187	1,101	1,129
	利用人数	30,773	3,874	26,899	27,195
サブアリーナ	利用件数	1,322	29	1,293	1,273
	利用人数	17,649	145	17,504	17,904
剣道場	利用件数	607	△4	611	560
	利用人数	17,165	△1,601	18,766	15,731
柔道場	利用件数	469	△80	549	492
	利用人数	7,710	1,065	6,645	8,835
弓道場	利用件数	1,131	△147	1,278	1,535
	利用人数	5,172	△298	5,470	5,435
会議室	利用件数	379	△43	422	445
	利用人数	4,361	△479	4,840	4,337
研修室	利用件数	291	△12	303	253
	利用人数	6,011	△1,236	7,247	6,977
トレーニング室	利用件数	13,106	247	12,859	13,690
	利用人数	13,106	247	12,859	13,690
室内プール	利用件数	34,383	△2,908	37,291	34,858
	利用人数	53,958	△3,727	57,685	53,933
合計	利用件数	56,836	△2,693	59,529	57,835
	利用人数	213,372	2,134	211,238	209,070

■教室等の自主事業実施状況

各教室の参加人数

教 室	H28 年度 (人) A	増減 A-B	H27 年度 (人) B
水 泳	24,643	△697	25,340
テ ニ ス	7,816	700	7,116
体 育	1,749	580	1,169
新 体 操	1,175	123	1,052
フ ッ ト サ ル	937	134	803
バスケットボール	1,215	△71	1,286
バドミントン	444	△52	496
健 康 教 室	583	55	528
ヨ ガ	1,133	70	1,063
卓 球	1,018	530	488
ラージボール卓球大会	527	527	—
ミズノレクリエーション	221	114	107
合 計	41,461	2,013	39,448

■施設の主な修繕

内 容	時 期	金額 (円)
総合運動公園プール棟吊天井改修工事	平成 28 年 12 月～平成 29 年 1 月	13,122,000

[成 果]

施設の貸出では、指定管理者であるミズノグループのプール教室などの自主事業の取り組みの結果、引き続き増加しており、利用者数は、対前年比2,134人増の213,372名となりました。

その他の自主事業においては、新たにラージボール卓球大会を開催するなど、更なるスポーツ人口の増加や施設の利用促進を目指し、子供から高齢者まで多くの町民がスポーツに親しめる機会を創出することができました。

また、スポーツ教室だけにとどまらず、膝痛・腰痛体操教室といった健康教室も実施し、町民の健康増進と施設の有効活用を図りました。

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,360,000	2,680,680	0	0	0	160,000	2,520,680

**[主な実施内容]**

■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

平成28年度は359日開所し、71,698人が利用しました。

		28年度 A	増減 A-B	27年度 B	26年度 B
前原グラウンド	利用件数	361	△18	379	350
	利用人数	8,673	△1,171	9,844	7,085
東 条 原 グラウンド	利用件数	411	△119	530	527
	利用人数	7,050	△2,767	9,817	9,256
東グラウンド	利用件数	550	△28	578	600
	利用人数	17,754	△1,382	19,136	17,689
宮東グラウンド	利用件数	603	16	587	584
	利用人数	19,384	1,755	17,629	12,285
宮 東 テニスコート	利用件数	1,925	279	1,646	1,656
	利用人数	17,139	1,181	15,958	16,794
アーチェリー場	利用件数	1,327	17	1,310	1,326
	利用人数	1,698	△1,604	3,302	5,892
合 計	利用件数	5,177	147	5,030	5,043
	利用人数	71,698	△3,988	75,686	69,001

**[成 果]**

町民の身近なスポーツ・レクリエーション施設として、個人・スポーツ団体には、ソフトボールやサッカーをはじめ、さまざまなスポーツの活動場所に利用され、町民の健康増進・体力向上が図られました。

また、自治会等には、地域の夏祭りや防災訓練の場として利用され、地域コミュニティの活性化が図られました。

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,364,000	1,865,206	0	0	0	304,165	1,561,041

### 〔主な実施内容〕

#### ■各種大会の参加状況

平成28年度は、各種大会、教室を実施し、延べ2,868人が参加しました。

#### ■第44回町民体育祭

773,235円

幼児から高齢者まで全町民が参加できるスポーツの祭典として、町民の健康増進と町民相互の親睦を図ることを目的に企画し、20チーム(47地区)の申し込みがありましたが、雨天のため中止となりました。

期日 10月9日(日)

会場 宮代町総合運動公園 多目的広場他

#### ■町民スポーツ大会

550,000円

宮代町体育協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、各種スポーツ大会を9種目実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
野球の部	7月～8月	総合運動公園野球場	385人
硬式テニスの部	9月	総合運動公園テニスコート	26人
ソフトボールの部	9月	総合運動公園ソフトボール場他	320人
サッカーの部	10月	総合運動公園多目的広場	55人
ソフトテニスの部	10月	総合運動公園テニスコート	75人
剣道の部	11月	須賀小学校体育館	85人
バレーボールの部	11月	総合体育館メインアリーナ	75人
卓球の部	11月	笠原小学校体育館	102人
弓道の部	1月	総合体育館弓道場	21人

#### ■第33回宮代町綱引大会

84,652円

町民の健康づくりと親睦・交流を図るため、綱引大会を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加者数(チーム)
宮代町綱引大会	12月4日(日)	総合体育館メインアリーナ	358人(36チーム)

■少年少女スポーツ振興事業

71,887 円

幼児から小学生までを対象に、スポーツに親しむ機会及びスポーツを始める機会を提供し、また、スポーツを通じた交流を促進するための事業を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツフェスティバル	6月19日(日)	総合運動公園 メインアリーナ	444人
ロードレース大会	2月11日(土)	総合運動公園	464人

■その他の事業

457,319 円

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第19回ファミリーハイキング 10月23日(日)	東京都 御岳山	ハイキングの楽しさや素晴らしい風景を味わい、家族のふれあいを深めました。	42人
第42回年少者スキー教室 1月7日(土)～8日(日)	日光湯元 スキー場	小学4～6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得のため、企画・準備しましたが、雪不足のため中止となりました。	—
スポーツフィールド 5月～3月	総合体育館 サブアリーナ	日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供するために、主に成人を対象とした教室を9回実施しました。	延べ69人
あそびと運動(トライ) 5月～6月(春季) 10月～11月(秋季)	総合体育館 サブアリーナ	からだを動かすことの楽しさを知り、「動きのもと」をやしなう下地を作ることを目的に、小学1～2年生を対象とした教室を実施しました。(各季5回)	春季16人 秋季21人
あそびと運動(チャレンジ) 4月～3月	総合体育館 ほか	子どもの運動能力向上を目的に、小学3～4年生を対象とした教室を実施しました。(15回)	19人

[成果]

小学生を対象としたあそびと運動教室から大人向けのスポーツフィールドまで、幅広い世代が参加できる事業を展開し、町民がスポーツに親しめる機会を創出することができました。

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
965,000	893,113	0	0	0	428,676	464,437

### [主な実施内容]

文化財の保護、保存、管理、文化財意識の啓発普及及び指定文化財の保護団体に補助を行いました。

#### ■文化財保護委員会の運営 179,900円

文化財の指定を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を行いました。また、文化財案内板の設置に関して審議を行いました。

#### ■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の鉄道・交通に関する調査を平成27年度に引き続いて行い、巡回展「東部地区の交通」の第1回目を宮代町郷土資料館において開催しました。

#### ■文化財案内板の設置 414,676円

ふるさと納税を活用し、青林寺・百間陣屋跡と地蔵院に、その歴史や由来を記した案内板の銘版を張り替えました。

#### ■指定文化財保存事業への補助 17,000円

指定文化財を保護、保存することを目的に、指定文化財所有者に対し補助を行いました。

埼玉県指定有形文化財五社神社 本殿防災設備保守点検

#### ■郷土史講座の開催 20,000円

特別展「宮代町の指定文化財」の開催に伴って、「鎌倉・室町時代の宮代町」「仏像～円空仏を中心に～」 「西光院～歴史と文化財」をテーマに3回に渡って実施し、延べ67名の参加がありました。

### [成 果]

文化財案内板の銘版を新しく張り直したことにより、最新の研究成果を記載することができ、町民の皆様に広く地域の歴史、由来を知っていただくことができました。

## 埋蔵文化財発掘調査事業

[生涯学習室]

決算書 P172

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,607,000	7,299,979	1,417,000	708,000	0	0	5,174,979

### [主な実施内容]

文化財保護法の規定により開発行為に係る事前の記録保存を目的とした発掘調査、整理作業を行いました。

#### ■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計363件の照会がありました。

#### ■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第93条の規定に係る発掘届が9件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

発掘届の原因 個人住宅8件・老人ホーム1件

指示事項 工事立会1件・慎重工事8件

#### ■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

991,000円

9件、総面積144㎡で試掘調査を実施しました。

調査の原因 個人住宅8件・老人ホーム1件

#### ■埋蔵文化財の遺物整理

発掘調査で出土した遺物の整理作業として、昭和63年度地蔵院遺跡では土器や石器の実測や拓本、トレース作業、復元作業、平成26年度地蔵院遺跡では拓本・実測作業などを行いました。

### [成 果]

文化財調査報告書を刊行するための準備として遺物や図面の整理作業を進めることができました。

## 埋蔵文化財発掘調査受託事業

[生涯学習室]

決算書 P172

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,785,000	8,183,592	0	0	0	8,000,000	183,592

### [主な実施内容]

原因者（開発者）負担が原則とされている開発行為に係る記録保存を目的とする埋蔵文化財の整理作業を行いました。

■道仏土地区画整理事業に伴う道仏遺跡の遺物整理

道仏遺跡の遺物等の整理作業として、住居跡や調査区出土遺物の図版作成、平面図の図版作成、土器の復元、個体土器の実測作業、写真撮影、割付、執筆作業などを行い、文化財調査報告書第23集「道仏遺跡」を刊行しました。

[成 果]

発掘調査報告書を刊行することで、本地域でも極めて稀で大規模な古墳時代の集落の記録保存を完了することが出来ました。

資料館管理運営事業

[生涯学習室]

決算書 P174

28年度予算 (円)	28年度決算 (円)	28年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,070,000	10,654,200	0	0	0	38,300	10,615,900

[主な実施内容]

資料館事業として、各種の展示、講座、教室等を開催しました。

■郷土資料館の利用状況

平成28年度は、291日開館しました。

28年度 A	増減 A-B	27年度 B	26年度
14,953人	86人	14,867人	9,321人

■資料寄贈等

町民の方をはじめとした方々から、民具や古文書等14件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約370冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

■展示 町の歴史、文化の紹介

344,679円

区分	内 容	期 間	入館者数
特別展	「宮代町の指定文化財」	平成28年10月～12月	2,597人
企画展	「身のまわりの生活史10 器いろいろ」	平成28年3月～5月	1,623人 (4・5月分のみ)
	「古文書に見る人々の暮らし 遺された記録」	平成28年5月～7月	2,417人
	「江戸時代の百間本村～宿・川島・切戸～」	平成28年7月～10月	4,410人
	「おひなさま」	平成29年1月～3月	3,210人
	巡回展「埼玉県東部地区の交通」	平成29年3月～5月	696人 (3月末まで)

■各種講座・体験学習教室の開催

49,024 円

事業名	内容	参加者数
夏休みとおき体験 「郷土資料館へ行こう」	小中学生を対象、7月27日～8月26日 計7回 縄文ペンダントづくり、まが玉づくり、絞り染め(初級)、絞り染め(上級)	延べ 98人
移築民家と 「アタラシイ」ゲキ13	8月20日、旧加藤家住宅の座敷において実施。 島村盛助の作品や、町に伝わる昔話や伝説など、歴史的な題材を中心とした創作演劇	20人
縄文土器づくり 教室	小中学生対象、7月23日、8月24日の2日間 土器づくりと土器焼き体験	15人
かやぶき民家で 聞く昔話	8月6日 旧加藤家住宅座敷において、宮代おはなしの会スウスの協力により、民話や昔話を聞く会を開催した。	30人
琵琶の調べ	9月25日 旧加藤家住宅座敷において、薩摩琵琶奏者の杉浦本信氏等の協力により、薩摩琵琶の演奏や朗読、講談を聞く会を開催した。	21人
特別展講演会	11月20日・23日・12月3日 特別展「宮代町の指定文化財」関連講座として、「鎌倉・室町時代の宮代町」「仏像～円空仏を中心に～」 「西光院～歴史と文化財」のタイトルでの、3人の講師による講演。	延べ 67人
歴史ウォーク	11月13日・27日・12月10日 町域にある3つの駅を始点・終着点に設定し、周辺に所在する文化財について、当館学芸員や市民ガイドクラブによる解説を受けながらの見学。	延べ 24人
歴史講座	3月19日 宮代町史や幸手市史、杉戸町史などを手がけた民俗学者・板垣時夫氏により、「埼玉県東部低地の人々の暮らし～堀上田・水塚～」の演題で、埼玉県東部地区の低地に住む人々の暮らしについての講演。	31人

■資料整理

164,186 円

1. 町内から寄贈された古文書の整理を行いました。
2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理、目録化等を行いました。

■普及、啓発

学校教育への対応、受入れを実施しました。

1. 総合的な学習について、町内外の小中学校から12回の依頼があり、対応しました。
2. 中学生社会体験チャレンジ事業について、中学生7人を受け入れました。
3. 団体利用が31件ありました。

4. 職員派遣申請が7件あり、職員の派遣を行いました。
5. 資料の館内利用が25件ありました。
6. 5年次教員研修として、1人を受け入れました。

## **[成 果]**

特別展や企画展を開催し、町内の歴史や文化の一端を知っていただくことができました。特別展では「宮代町の指定文化財」を開催し、町指定文化財を一堂に会する初めての展示として、普段はなかなか公開の機会のない貴重な文化財を紹介しました。

企画展では収蔵品を中心に構成された展示や、東部地区文化財担当社会の巡回展として「埼玉県東部地区の交通」を開催しました。また、各種の講座や体験教室を通じて、町内の小中学生をはじめ多くの方々に昔の暮らしや技術などを学んでいただきました。

